



TITLE:

表紙・投稿規定・プレプリント・
編集後記・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・投稿規定・プレプリント・編集後記・裏表紙ほか. 物性研究
1979, 31(5): 292-297

ISSUE DATE:

1979-02-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/89747>

RIGHT:

海外便り

〔氷上 忍 → 長岡洋介〕

1978年 12月 19日

この間はお手紙有難うございました。基研の25周年公開講演会も大入満員の盛況のこと伺いました。ちょうど今、RutgersであったLebowitzさんの主催するイエシバ統計力学研究会から帰ってきたところです。Lebowitzさんからは、富田博之さんが「王子セミナー印象記」に書いているとおりの印象を受けました。研究会は基研でやっている様なもので、今回40回目と長く続いているのと、ポストドクターのポジションの紹介もかねていることなので、仲間同志の研究会といった感じです。プリンストンが近いせいか、アンダーソンやワイトマンも来ていました。前に基研に来ていたThompsonさんとGuntonさんにも会いましたが、彼らには日本の若者はもっと外国に出てこなければいけないと説教されました。最近はポストドクターもそれ程難しくなくなったようです。

ハーバードでは2次元系の話が中心で、超流動、液晶、mono-layer、超伝導の2次元の相転移の問題です。非平衡系の話は、富田さんも書いているように日本ほどまだ盛んになっていないようです。シカゴやカリフォルニアでは又別のことが中心となっているのでしょうが、情報があまり入ってきません。あと少しで帰りますが、物性研究の編集会のメンバーにもよろしく。

ニュース

[東京大学理学部・物理] (久保・和田・鈴木研究室)

○人のうごき(海外出張 帰国, 外人の来日, 人事移動)

鈴木 増 雄 氏	ヨーロッパより帰国
北 原 和 夫 氏	〃
田 中 文 彦 氏	イギリスケンブリッジへ出張

[東京大学物性研]

○談 話 会

11月16日	“In-situ observation of deformation of Metals by use of Synchrotron Radiation Topography” D. K. Bowen 氏 (Univ. of Warwick)
11月20日	“層状遷移金属化合物における電荷密度波” 中西一夫氏 (物性研)
11月27日	“Propriétés Universelles des Systèmes Désordonnés à Basse Température: Aspect Expérimental (Verres, Amorphes, Verres de spin)” J. Joffrin 氏 (グルノーブル I. L. L.)
11月28日	“Study of Solids with Synchrotron Radiation” Dr. Y. Farge 氏
12月 4日	“Multiexciton Complexes in Indirect Band Semiconductors” V. B. Timofeev 氏 (I.S.S.P., Academy of Science of USSR Chernogolovka, USSR)
12月11日	“低速電子エネルギー損失分光による固体の電子帯構造の研究” 小間 篤氏 (東大工学部)
12月14日	“Recent Developments in the Recursion Method” M. J. Kelly 氏 (The Cavendish Lab.)

ニュース

○土曜セミナー

- 11月18日 “強磁性ニッケル中の置換型及び格子間不純物の電子状態”
寺倉清之氏（物性研）
- 11月25日 “Path Integral Approach to the Valence Fluctuating State Asymmetric Anderson Model”
上田和夫氏（東大・工）
- 12月9日 “ $1/n$ 展開による臨界現象の研究の最近の発展
—臨界指数の $0(1/n^2)$ の計算—”
岡部 豊氏（東大・教養）
- 12月16日 “Effects of Impurity Pinning on Commensurate CDW and Incomm.-Comm. Transition”
中西一夫氏（物性研）

[東京大学教養部]

○セミナー

- 12月6日 “Multiple Scattering in the Compton Effect”
by A. C. Tanner & I. R. Epslein
石川氏
- 1月12日 “高分子の統計物理（からみ合いの問題点）”
Phys. Rev. A13, 335; 14, 313 他
近久氏（東農工大）

[名古屋大学]

○談話会

- 1月9日 “最近の Valence fluctuation の話題”
糟谷忠雄氏（東北大・理）
- 1月23日 “強誘電体分野の最近の話題”
沢田正三氏（中部工大）

プレプリント案内

〔東京大学・理学部・物理・久保研究室〕

- (202) 1. K. Nakanishi
Effects of Impurity Pinning on Commensurate Charge-Density-Wave State and Incommensurate-Commensurate Transition
- (203) 2. T. Schneider and E. Stoll
Dynamics of the Sine-Gordon Chain
- (204) 2. T. Schneider and E. Stoll
Nonlinear Lattice Dynamics: Molecular-Dynamics Studies
- (205) 2. T. Schneider and E. Stoll
The Sine-Gordon Chain: Mass Diffusion
- (206) 2. E. Stoll, T. Schneider and A. R. Bishop
Evidence for Breather Excitations in the Sine-Gordon Chain
- (207) 7. J. V. José
Spin-spin Correlation Functions in the Frustrated Two Dimensional Planar Model
- (208) 7. J. R. Cary
Lie Transforms and Their Use in Hamiltonian Perturbation Theory
- (209) 9. N. G. van Kampen
The Diffusion Approximation for Markov Processes
- (210) 13. G. Baym
Confinement of Quarks in Nuclear Matter
- (211) 13. G. Baym
Physics of Neutron Stars
- (212) 13. H. Hasegawa
Single-Site Functional-Integral Approach to Itinerant-Electron Ferromagnetism
- (213) 15. M. Kusunoki
Theory of Non-radiative Quenching of Hot Luminescence in F-centers
- (214) 19. K. Kato and K. Mima
Broken Ambipolarity of Diffusion in Drift Wave Turbulence

プレプリント案内

- (215) 19. K. Nishikawa
Summary for Inertial Confinement Fusion
- (216) 19. H. Hojo and T. Watanabe
Numerical Study of Drift Wave Instability due to Non-Uniform Density Gradient in a Sheared Magnetic Field
- (217) 21. I. Procassia, D. Ronis and I. Oppenheim
Light Scattering from Non-equilibrium Stationary States: The Implication of Broken Time Reversal Symmetry
- (218) 21. I. Procassia, D. Ronis, M. A. Collins, J. Ross and I. Oppenheim
Statistical Mechanics of Stationary States. I. Formal Theory
- (219) 21. D. Ronis, I. Procassia and I. Oppenheim
Statistical Mechanics of Stationary States. II Applications to Low Density Systems
- (220) 21. D. Ronis, I. Procassia and I. Oppenheim
Statistical Mechanics of Stationary States. III Fluctuations in dense fluids with applications to light scattering.
- (221) 26. H. Shiba
The Nonregistered-Registered Phase Transition of Rare Gas Monolayers Adsorbed on Graphite

編 集 後 記

外遊中の氷上氏に替ってここ一年半程「物性研究」の編集をまとめて下さっているT氏の、新婚旅行のお土産のお菓子をつまみ乍らのなごやかな編集会議だった。

編集委員の間で「勝木論文」の評判が非常に良かった。講義ノートをいくつか計画した。基研に滞在中のシカゴ大学教授 Morrel H. Cohen 氏の連続セミナーの代表的なものもまとめることにした。しかしどの原稿も書かれてから「陽の目を見る」まで4カ月程もかかるのが悩みの種である。

投稿論文が無くて雑誌が薄くなる月もあれば、投稿論文のおかげ(！)でばっちり厚くなる月もある。これも「物性研究」の存在価値のひとつに数えていいのだろう。

「雪の降る音を聞き乍ら……」と書きかけて、はて、この編集後記が読者の目にふれる頃は？と思い当り、やめることにした。

(F. Y)

物 性 研 究

第 31 卷第 5 号

1979年 2月 20日発行

発行人 長 岡 洋 介

京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

印刷所 昭和堂印刷所

京都市上京区上長者町室町西入
TEL (441)1659 (431)4789

発行所 物性研究刊行会

京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

編 集 後 記

外遊中の氷上氏に替ってここ一年半程「物性研究」の編集をまとめて下さっているT氏の、新婚旅行のお土産のお菓子をつまみ乍らのなごやかな編集会議だった。

編集委員の間で「勝木論文」の評判が非常に良かった。講義ノートをいくつか計画した。基研に滞在中のシカゴ大学教授 Morrel H. Cohen 氏の連続セミナーの代表的なものもまとめることにした。しかしどの原稿も書かれてから「陽の目を見る」まで4カ月程もかかるのが悩みの種である。

投稿論文が無くて雑誌が薄くなる月もあれば、投稿論文のおかげ(！)でばっちり厚くなる月もある。これも「物性研究」の存在価値のひとつに数えていいのだろう。

「雪の降る音を聞き乍ら……」と書きかけて、はて、この編集後記が読者の目にふれる頃は？と思い当り、やめることにした。

(F. Y)

物 性 研 究

第 31 卷第 5 号

1979年 2月 20日発行

発行人 長 岡 洋 介

京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

印刷所 昭和堂印刷所

京都市上京区上長者町室町西入
TEL (441)1659 (431)4789

発行所 物性研究刊行会

京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

講読規定

個人講読

1. 会費：当会の会費は前納制をとっています。したがって、3月末までになるべく1年間分会費を御支払い下さい。
なお新規講読お申込みの場合は下記の会費以外に入会金として、100円お支払い下さい。

1年間の会費

1st volume	2,340円
2nd volume	2,340円
計	4,680円

(1年分まとめてお支払いが困難の向きは1 volume 分ずつでも結構です)

2. 支払いの際の注意：なるべく振替用紙を御利用の上御納入下さい。
(振替貯金口座 京都5312)
なお通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。
雑誌購読者以外の代理人が購読料を送金される場合、必ず購読者本人の名前を明記して下さい。
3. 誌代の支払遅滞の場合：当会の原則としては、正当な理由なく2 Vols.以上の誌代を滞納された場合には、送本を停止することになっていますので御留意下さい。
4. 一括送本を受ける場合：個人購読中に大学等で一括配布を受けるようになった場合は、必ず「個人購読中止、一括配布希望」の通知をして下さい。逆の場合も同様です。
5. 送本先変更の場合：住所、勤務先の変更等送本先が変わった場合は、必ず送本先変更届を提出して下さい。

学校、研究所等機関購読

1. 会費：学校・研究所等での購読及び個人であっても公費払いのときは機関会員とみなし、代金は、1冊 730円、1 Vol. 4,380円、年間 8,760円です。この場合、入会金は不用です。学校、研究所の会費の支払いは後払いでも結構です。しかし購読申込みをされる時に支払いに必要な請求、見積、納品書各何通必要なのかをお知らせ下さい。
なお、当会の請求書類では支払いができない様でしたら、貴校、貴研究機関の請求書類を送付して下さい。
2. 送本中止の場合の連絡：発行途上にある volume の購読途中中止は認められません。購読中止される場合には、1ヶ月前ぐらいに中止時期を明記して「購読中止届」を送付して下さい。

雑誌未着の場合、発行日より6ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

物 性 研 究 31— 5 (2月号) 目 次

○本多の磁気理論と，わが国における Weiss 理論の受容の過程 II ——聞書きにもとづく物性物理学史(3)——…信州大理 勝木 渥……	245
○REDUCE-2 プログラムについて ……京大教養 富田博之……	269
○講義ノート 量子固体 II ……京大基研 長岡洋介……	283
○海外便り ……氷上 忍 (Harvard 大) 長岡洋介 (京大基研)……	292
○ニュース ……	293
○プレプリント案内 ……	295
○編集後記 ……	297

物 性 研 究 31— 5 (2月号) 目 次

○本多の磁気理論と，わが国における Weiss 理論の受容の過程 II ——聞書きにもとづく物性物理学史(3)——…信州大理 勝木 渥……	245
○REDUCE-2 プログラムについて ……京大教養 富田博之……	269
○講義ノート 量子固体 II ……京大基研 長岡洋介……	283
○海外便り ……氷上 忍 (Harvard 大) 長岡洋介 (京大基研)……	292
○ニュース ……	293
○プレプリント案内 ……	295
○編集後記 ……	297